

夏休みには図書館へ行こう！

①8/2(金)
②8/9(金)

学校では学べないふるさと歴史教室 ～「関ヶ原合戦と大垣城」～



	日にち	時間	テーマ
1	8/2(金)	10:00~11:00	石田三成が勝った！
2	8/9(金)	10:00~11:00	その時、大垣では・・・

＜対象及び定員＞小学生および保護者30名
(小学生のみも可)

＜会場＞大垣市立図書館 3階会議室

＜講師＞坂東肇先生

＜参加＞無料・先着順

＜申し込み＞大垣市立図書館へ直接、または電話にて

8/10(土) なつのおはなし会

＜時間＞8/10(土) 10:30~11:30

＜会場＞大垣市立図書館 1階 児童閲覧室

＜内容＞絵本・紙芝居・パネルシアター・手遊びなど

※ご家族、お友達とみなさんでお越しください。



歴史研究宝便り

大垣に伝わるむかしばなし ③ 『昼飯町の由来』

地名の由来にも面白いものがあります。大垣市昼飯町の場合「ひるい」と呼び、昼(ひる)と飯(い)と二文字が重箱読み(じゅうばこよみ)になって、訓と音で呼びつなげられた名詞となっています。

むかしむかし、善光寺本尊(せんこうじほんぞん)が大阪の難波から長野の善光寺へ移るときに、奉持者(ほうじしゃ)がここで昼食をされたので昼飯(ひるめし)とつけたが、呼び名が好ましくないと「ひるい」と呼ばれ「い」の発音が二字続くので、これも発音しにくいからと、一字を略し「ひるい」と呼ぶようになったのだと伝えられています。

この話のゆかりとして、昼飯町の如来寺(にょらいじ)というお寺に、善光寺式阿彌陀三尊仏(せんこうじじきあみださんぞん)(市指定重要文化財)がまつられています。

出典：『大垣むかし話100話』

大垣市企画広報課・編
『大垣むかし話100話』は、大垣市電子図書館でも読むことができます。

